

片瀬イラスト遺産

懐古

八十年

絵と文

金子繁治

### 【福呼ぶ鳥】

昭和の初期頃までは草葺き屋根の農家も多く、夏涼しくて冬暖かいが評判でした。この家は庭広く、鬼門に稻荷社を構え、物置、納屋湯殿、廁など別棟を持った標準的な構えです。

夏の二ヶ月間、家族は納屋に移って過ごし、居室は避暑客に貸していました。

遠来の燕も大切な避暑客で福を呼ぶ鳥として大切にしました。

朝づくり(朝飯前の畑仕事)

から帰ってきた主が機嫌よく

「燕が巣立った。めでてえー、

早速親鳥と一杯やるべー」

(朝酒をねらってのひと言)

